

誓子の日記

「サザエとマスオ」の巻

私はよく家族からサザエさんと言われます。

『悪い物しようこ子まで出掛けたら財布を忘れて帰るサザエさん』

財布を忘れるくらいなら、楽しくてよいのでしょうか…。

先日、寺でお経会や葬式などの行事が続いた後、本堂の地下を片付けに行くと、

「ない！」

昨年寄贈して頂いた電気ポットがない！葬式の前には置いてあったのに…。

「お葬式でたくさんの方が来ていたから、誰か間違っただけで帰ったのかなあ。時々そういうことがあるから」

智寧さんに話すと、「確かに僕も夕べは地下で見た」といので、間違っただけで帰っておられないか、思い当たるところへ数箇所電話して聞いてみました。しかし結局

見つからず途方に暮れていました。

もしかしたらと思い、もう一度地下の台所に行ってみると、

「ガン！ 灯台下暗し！」

棚の中でなく調理台の下の足元に箱入りの状態で置いてあったのです。



濡れ衣を着せてしまった方にご詫言の電話をしましたが、お経会の方はわざわざ寺まで探しにきてくださるし、葬儀社の方は、これを使ってくださいと新品のポットを二つも持ってきてくれた。

「みなさん、ごめんなさい」もう泣きたい心鏡でした。西教寺のサザエさんは赤

面して肩を落とすのでした。たくさんの方々に迷惑をおかけしました。紙面を借りて改めてお詫言いたします。

それから一週間ほどして、お説教の前日のこと、ご講師さんから電話がありました。ちよつと声が聞き取りにくかったのですが、しつこく聞いて先方に失礼があつてはと思ひ、とりあえず翌日来寺される時間を確認してから電話を切りました。

が、が、しかし…！電話を切つてから考えてみると、耳に残っていたは「広（地名の△△寺です。明日からお世話になります）」と言

う声ですが、今度の講師さんは全く別のS町から来られることになっていきます。

「ええ、これってダブルブックキング（重複予約）という意味じゃあない？以前もそういうことがあったもの」

智寧さんに話すと「確かにそれは大変だ。早く住職さん

に知らせなきゃあ。」との答え。ご講師さんへの依頼は住職さんが仕切っているの

で、慌てて携帯電話をかけて聞いてみました。会議中だったよ

うで、電話口で小声で「今度はS町のNさんをお願いしているはずだが、広の方の方に頼んだ覚えはないがね。」とおっしゃいました。

「さあ困った。それじゃあ、あの電話は誰だったの？」

寺院名簿を調べましたが分かりません。しようがないので最後の手段。失礼を覚悟でS町のN先生に電話を下さつたかお尋ねすることにしました。智寧さんが電話を掛けたと、先生のお返事は、

「ええ、確かに電話しました。若奥さんが出てお寺へ着くお時間をお伝えしました。」

電話の後、智寧さんが私を見る目は、「サザエさんええ加減にしてや」と言っていました。

「とほほほ…」申し訳ないや

ら情けないやら、しばらく落ち込んでしまいました。でも、私がサザエさんなら一緒に大騒ぎした智寧さんはどうなるの？マスオさんじゃない？

サザエさんは、立ち直りが早いのが取り得なものです。



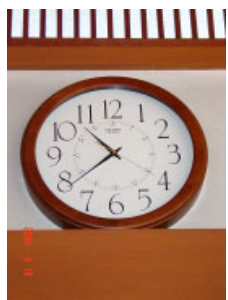
- 長ノ木本坊障子の張替え
- 橋本貞雄・坂井ヒサエ
- ダニナ募金
- 長ノ木本坊
- 三六、八三〇円
- 蔵本通支坊と日曜学校生徒
- 三〇、九四一円
- 三津田支坊
- 二五、〇〇〇円



●電気ポット2個
宇野義祭



●本堂時計他二個
寺尾 文江



- 日曜学校生徒へ
- 猿ノ折本坊紙山崎敏子
- 長ノ木本坊報恩講お供え
- 小菊支坊報恩講お供え
- 蔵本通支坊報恩講お供え
- マドカしの木二個
- 仏花用貝久保光子
- 仏花用南天久保ヤコ
- 仏花用葉天藤佳康
- 空井丹哲子
- ホットカーペット
- 蔵本通支坊掲示板のガラス
- 三津田支坊報恩講お供え
- 料三津田支坊名希望の女性
- 小豆砂糖坊正井善哉の
- お供えお菓野厚井一博
- はがき河野和俊(敬称略)